**日本臨床発達心理士会千葉支部　2022年度第2回資格更新研修会のお知らせ**

日時　2022年10月30日(日)　 13時00分～16時00分

会場　Zoomによる配信 (入室は12時30分より可能)

　　千葉支部会員向け研修会(他支部からの参加はできません)

　　事前参加申込が必要、定員60名、**参加費無料**、研修ポイント１ポイント

テーマ　｢コロナ禍が子どもの認知やコミュニケーションの発達に与える影響について｣

日程と講師

(前半)　テーマに関連した話題提供と情報交換

　講師　田原 佳子 先生(東上総教育事務所)、大槻 美智子 先生(東大戸小学校)、

　　　　佐々木 郁子 先生(君津特別支援学校)、関口 薫 先生(白井市こども発達センター)、

　　　　松川 節理子 先生(富里市健康推進課)

(後半)　講演

講師　川島 隆太 先生(東北大学加齢医学研究所)

要旨

　本研修会は、Zoomによる配信にて実施します。

　現在、新型コロナウィルスの感染拡大で、子どもたちの学校（園）での生活が、集団の行事やさまざまな活動が制限され、マスクをしての会話が増えるなど、子どもたちのコミュニケーションのあり方が大きく変わってきています。本研修会で、まず前半、幼児や児童等に関わるさまざまな立場の会員から子どもたちの現状について話題提供、情報交換を行います。後半は、脳科学者である東北大学の川島隆太先生に、科学的分析に基づき、「マスクが当たり前になり、表情が乏しくなる」「感情が読み取りにくい」状況が発達期の子どもたちにもたらす影響について、講義していただきます。

本研修会をとおして、改めてコロナ禍が子どもたちの認知やコミュニケーションの発達に与える影響について考え、子どもたちに関わる私たちにできることは何か、考える機会とします。

〇参加方法

　◆千葉支部会員向け研修会で事前参加申込が必要です。

　　申込受付期間　**2022年10月1日(土)より**10月20日(木)まで。先着順に受け付け、定員になりしだい締め切りといたします。

　　氏名、登録番号を明記の上、jacdpchiba@yahoo.co.jp　宛てにメールで送信してください。

　　参加の可否、研修会資料の配布方法、Zoomへの参加方法についてメールで送信します。申込時

のメールアドレスに返信しますので、必ず返信メールが受け取れるアドレスから参加申込をしてください。**参加費は無料**です。

**◆情報提供のお願い**

　　本研修会の前半は、本テーマについて話題提供と情報交換を行います。参加される皆さまから、テーマに関連した身近な現状や感じていることについての情報提供をお願いいたします。参加申込みのメールに、氏名、登録番号に続けて200文字以内で(1～2行でも結構です)書き添えていただけるとありがたいです。寄せられた情報は研修会資料の一部として参加者の皆さまに配布します(氏名は記載しません)。

　　なお、情報提供は必ずということではありません。申込み受付は、情報提供の有無にかかわらず先着順で行います。

◆2022年度までおよび以前の会費が未納の方は参加できません。不確かな場合は必ず申込前に

日本臨床発達心理士会マイページからログインして、会費納入状況を確認してください。

　◆当日の研修会終了後1時間以内に、講義の中にあった複数の「合い言葉」をメールで送信していただき、研修会参加が完了したことになります。

　◆本研修会に参加するためには、Zoomミーティングに参加するための設備(パソコン、Web

　　カメラ、マイク等)と環境(ソフト、インターネット接続)が整っている必要があります。

〇確認事項と遵守事項

　申込にあたっては必ず下記についてご確認ください。申込いただいた方については下記の確認事項と遵守事項に同意されたものとさせていただきます。

　◆確認事項

　　　　当日の通信状況や参加者の操作ミス等により講義を視聴できなかった場合について、個人に講義内容の再配信は行いません。

　◆遵守事項

　　1. Web研修会を受講できるのは、受講申込をした本人に限られます。本人の代わりに他人が受

　　　講してはいけません。

　　2.講義や資料のリンク先のURLを他人に教えたり、SNSやブログなどで公開したりしてはい

　　　けません。

　　3.参加者は講義を撮影、録画、録音、公開をしてはいけません。

　　4.講義内容や配付資料をSNSやブログなどに公開してはいけません。

　　5.配付資料の電子ファイルを他人に送信したり、コピーを他人に配付したりしてはいけません。

　　6.その他、倫理綱領に抵触する行為をしてはいけません

　　　(以上の遵守事項は、「士会支部主催のオンライン研修会においてポイントを付与する基準」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2020.8.8日本臨床発達心理士会執行部会、より)